

上成出水（うわなりですい）

位置図



上水道が整備される以前は生活用水としても利用されていたここ上成出水は、湧出量が豊かで、近隣にある出水の中でも随一を誇っており、幾度となく見舞われた大渇水の時にもその湧出量は衰えず、農地約 10ha を潤すなど、今でも地域の重要な水源となっています。

正式名称は「上成出水」ですが、出水のあるところが「船岡」という地名であることから“船岡出水”、また、この地域の庄屋が明治維新のころ出水を囲んで茶室を作り、遁窩^{とんか}と名づけたのが訛^{なま}って“トムカ（とむかい）出水”など、いくつもの名称を有しており、地域の人たちにそれぞれの呼び名で親しまれています。

慣れ親しんだこの出水を後世に伝えていくとともに地域の環境を考えるきっかけとなるよう、船岡周辺の子ども会や青年部有志の手により、平成9年から「カップ祭り」が開催されるようになりました。祭りでは、カップの仮装コンテストや出水にまつわる啓発ポスターの展示などが行われ、今ではすっかり地域のお祭りとして定着しています。ちなみに、祭りや出水のシンボルに“カップ”が使われているのは、昔から水がきれいの子供達がよく泳いでおり、その姿がカップに見えたからだそうです。

古くからの歴史の中で育まれた水環境が、今、地域おこしの一役を担っています。



出水の頭部分



カップの像



カップ祭り風景



カップの仮装コンテスト

